

能樂「世界無形文化遺産」

第31回

# 長野能



元気づくり支援金



定期公演

田村 武田友志  
替装束

清水 野村太一郎

船弁慶 関根祥丸  
前後之替

令和7年

3月16日(日)

(第1部) 9時半開場

10時 能楽体験(無料)

(第2部) 12時 開場

13時 長野能開演

ホクト文化ホール大ホール

(長野県県民文化会館中ホール)

〒380-0928 長野県長野市若里1-1-3

撮影：能 (田村・船弁慶)前島吉裕

●スマートフォン・タブレット画面に能の場面を説明いたします

We will explain Noh scenes on your smartphone or tablet screen.

◆主催 長野県能楽連盟

◆後援 長野県教育委員会 長野県芸術文化協会 長野市教育委員会 長野市文化芸術協議会 信濃毎日新聞社

番組

第一部 午前10時 能楽体験

七百年の歴史を誇る能楽を学ぶ

講師 山階彌右衛門

第二部 午後一時 開演

お話し

関根 祥丸

連吟

関根 祥丸

嵐山

能

雪入 勘次  
仁井田邦通  
児玉 光男

依田 明子  
村石 武志  
柴田 孝昭  
関川 豊春

シテ 武田 友志

田村

ワキ 則久 英志

替装束

問 飯田 豪

大鼓 亀井 広忠  
小鼓 飯田 清一

笛 一噌 隆之

後見 武田 文志  
山階彌右衛門

武田 章志  
早津 光義  
海野 義元  
武田 祥照

狂言

清水

シテ 野村 太郎

アド 高野 和憲  
後見 松川美韻希

休憩 二十分

仕舞

笠之段

観世 三郎太

網之段

山階彌右衛門

鐘之段

松木 千俊

鶉之段

観世 喜正

能

武田 文志  
角 幸二郎  
関根 知孝  
清水 義也

子方 武田 應秀

シテ 関根 祥丸

船弁慶

ワキ 大日方 寛

前後之替

問 中村 修一

大鼓 亀井 広忠  
小鼓 飯田 清一

太鼓 大川 典良  
笛 一噌 隆之

後見 坂口 貴信

知孝

山崎 佑司

豊

木月 宣行

井上裕之真

清水 義也

清水 義也

(終演予定 十七時頃)

上演曲解説

能 田村 (たむら)

東国の僧(ワキ)が都への旅に出、三月中旬 清水寺に着き、桜の盛りに見られていと、童子(前シテ)が現われ箒で木蔭を掃き清める。僧が寺の来歴を尋ねると、清水寺は大同二年 坂上田村麿の御願により創立されたものであることを語り、さらにこのあたりの名所を教える。南に見える塔は清閑寺、その向こうは今熊野、北に入相の鐘が聞こえるのは靈仙寺と教えているうちに音羽山から月が出た。花の美しい香、月の清い光、春の一刻は千金に値すると、絶景に僧は酔ったが、童子が普通の人ではなく思えて、どういふ方かと尋ねると、童子はそれほど気がかりなら私の行先を見よと言つて、地主権現の坂上の田村堂に入った。(中入)

僧が桜の散る木蔭に坐し、月の光に心を澄まして、法華経を誦読していると、坂上田村麿の霊(後シテ)が武將姿で現れ、勅命により軍兵を指揮して伊勢路に入ったとき、阿濃の松原あたりで数千騎の敵勢に遭遇したが、心中に仏力神力の加護を祈念すると、千手観世音が具現し給ひ、千の御手の一つ一つに大悲の弓を持ち、千の矢を放たれたので、敵はことごとく討たれた。これは全く観世音の御力であると賛美して田村麿は消えた。(能楽ハンドブックより引用)

狂言 清水 (しみず)

主人から、茶の湯で使う水を野中の清水へ、汲みに行くように命じられた太郎冠者(シテ)は、行きたくないので、鬼に襲われたふりをして帰ってくる。主人は冠者が置いてきてしまった秘蔵の手桶を惜しがり、自ら清水へ行くといい出したので、冠者は先回りし、鬼の面をかぶつて主人を脅す。あわてて逃げ出した主人だが、冠者を鼻負した鬼の言葉や、冠者そっくりの声など合点のいかなことが多く、もう一度、清水へ行くことにする。そこでまた冠者は鬼に扮して脅すが、今度は正体を暴かれ、主人に追われて逃げていく。(狂言ハンドブックより引用)

能 船弁慶 (ふなべんけい)

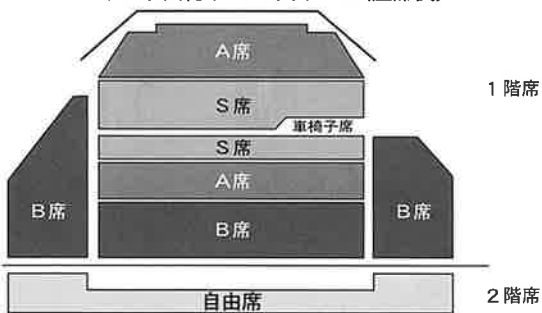
文治元年十一月、兄頼朝の嫌疑を解くべく西国落ちを決意した義経(子方)は、摂津国大物の浦に到着する。静御前(前シテ)もここまで従つて来たのであるが、弁慶(ワキ)の諷刺で都に帰すことになり、名残の酒宴が開かれる。義経の不運を嘆く静は、清水観音の加護を祈りながら、別れの舞を舞う(中入)。

義経の一行が船出すると、海上がにわか荒れ始め、平知盛(後シテ)をはじめ、壇の浦に滅んだ平家一門の怨霊が波間に立ち現われ、義経主従を海に沈めようとするが、弁慶が祈り伏せ怨霊は波間に遠ざかってゆく。(能楽ハンドブックより引用)

能面展

能は複合芸術で、役者の演技だけでなく能楽堂の建築、装束、面、楽器など色々な要素があります。そのなかで一般の方に一番目につくのは能装束と能面と言われています。この機会に能面を十分鑑賞ください。

ホクト文化ホール 大ホール(座席表)



観能券料

- S 指定席 7,500円
- A 指定席 6,000円
- B 指定席 5,000円
- 自由席 2,000円
- 車椅子席 4,000円 (介助者1名含む)

お申し込み・お問い合わせ先

ご購入窓口  
ホクト文化ホール事務所

お問合せ・電話購入先  
長野能実行委員会 電話 080-1330-6807

1月16日(木)午前10時 発売開始 お申し込みはお早目に!